◆管内市町村の概要　全２０市町村（1市13町6村）

管内総面積　4,305.94㎢
管内総人口　190,810人

小樽市 Otaru City

●面積:243.87㎢
●人口:104,432人
●市町村名の由来
アイヌ語「オタ・オル・ナイ」
(砂の中の川)から転化

●概況
北海道開拓の表玄関として発展してきた商工港湾都市。海と山に囲まれた美しい自然と、港や運河、数多くの歴史的建造物が残る街並みが魅力の観光都市であり、国内外から多くの観光客が訪れている。

島牧村 Shimamaki Village

●面積:437.18㎢
●人口:1,246人
●市町村名の由来
アイヌ語「シュマコマキ」
(背後に岩がある)から転化

●概況
自然公園を擁し、日本の滝百選の賀老の滝など雄大な自然環境下にあり、「あめますダービー」など観光産業、漁業振興に力を入れている。

寿都町 Suttsu Town

●面積:95.25㎢
●人口:2,629人
●市町村名の由来
アイヌ語「シュプキペツ」
(川の名)から転化

●概況
寿都湾の豊かな資源の恩恵を受け、古くはニシン漁を背景に水産業を中心に発展してきた。「寿かき」など多種多様な魚介類が獲れる食の宝庫で、白い風車が立ち並ぶ風光明媚な海岸線が美しい港町。

黒松内町 Kuromatsunai Town

●面積:345.65㎢
●人口:2,446人
●市町村名の由来
アイヌ語「クル・マツ・ナイ」
(和人の女が多くいる沢)
から転化

●概況
ブナ北限の自生林を有する管内一の酪農のまち。町の自然に気軽に親しめる環境づくりをすすめ、都市と農村の交流を目指している。

蘭越町 Rankoshi Town

●面積:449.78㎢
●人口:4,501人
●市町村名の由来
アイヌ語「ラン・コウシ」
(柱の木が多いところ)から転化

●概況
清流日本一の尻別川が流れ、良質米「らんこし米」の生産地として有名。泉質の異なる複数の温泉郷に恵まれた美しい景観を誇る米と温泉と花のまち。

ニセコ町 Niseko Town

●面積:197.13㎢
●人口:5,551人
●市町村名の由来
アイヌ語「マッカリペツ・フト」(崖のきり立った川)から転じて狩太町であったが、ニセコが観光スキー場として全国ブランドになったため「ニセコ」に改称(昭和39年10月1日)。

●概況
良質なパウダースノーが舞い降りるニセコ町には多くの観光客が訪れる。また、夏季には冷涼な気候を活かした農業が盛ん。環境モデル都市として資源・エネルギー・経済の循環を目指している。

真狩村 Makkari Village

●面積:114.25㎢
●人口:1,938人
●市町村名の由来
アイヌ語「マツカリペツ」
(山の後をとり巻いている川)
から転化

●概況
羊蹄山の南にあり豊かな伏流水で育まれたじゃがいも、人参、ハーブ豚等が有名。中でも食用ゆり根の生産日本一を誇る。村出身の細川たかしさんが観光大使を務め、食による観光振興に取り組んでいる。

留寿都村 Rusutsu Village

●面積:119.84㎢
●人口:2,018人
●市町村名の由来
アイヌ語「ル・スツ」、あるいは「ルー・スツ」(道が山のふもとにある)から転化

●概況
周囲を山岳に囲まれた高原台地状の農村。通年型観光リゾートのルスツリゾートが有名。道の駅「230ルスツ」は農産物直売店があり、地域間交流施設として活気を呈している。

喜茂別町 Kimobetsu Town

●面積:189.41㎢
●人口:1,928人
●市町村名の由来
アイヌ語「キムオペツ」
(山奥にある川の意)から転化

●概況
大小41の川が流れ、環境庁から「水の郷」に指定された自然豊かな町。アスパラガス栽培発祥の地として有名。中山峠の「道の駅」と、市街地の「郷の駅」の2つの駅があり観光客が多く訪れる。

京極町 Kyogoku Town

●面積:231.49㎢
●人口:2,776人
●市町村名の由来
本町開拓の先駆者である
京極高徳氏の姓

●概況
羊蹄山の伏流水が湧き出る「水」のまち。湧水が「名水百選」の選定を機にふきだし公園が整備された。
「名水の郷」として街づくりが進められている。

倶知安町 Kutchan Town

●面積:261.34㎢
●人口:17,120人
●市町村名の由来
アイヌ語「クッシャニ」
(くだのようなところを流れる
川)から転化

●概況
日本有数の豪雪地帯。ニセコ山系に展開する広大な規模のスキー場は、世界から注目されている。農業が盛んで、気温の寒暖差から生まれたジャガイモは、本州で高い評価を得ている。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して
ー後志総合振興局とのコラボレーションロゴを制作ー

共和町 Kyowa Town

●面積:304.92㎢
●人口:5,364人
●市町村名の由来
共に和やかに和合し、発展しようという合併村の願いを表す
(前田村・小沢村・発足村の合併)

●概況
田園風景が広がるまちなみから、役場庁舎やイベント、中核施設「かかし古里館」等「かかし」をテーマにまちづくりを推進。「らいでん」ブランドのスイカ、メロンが知られている。

岩内町 Iwanai Town

●面積:70.60㎢
●人口:10,913人
●市町村名の由来
アイヌ語「イワウナイ」
(硫黄の流れる沢)から転化

●概況
ニセコ連峰、岩内岳、雷電山の稜線と日本海、岩内湾に囲まれた歴史ある港町。厳しくも美しい自然の中で育まれた歴史・文化や、そこで暮らす人々の多様性を活かしたまちづくりに取り組んでいる。

泊村 Tomari Village

●面積:82.27㎢
●人口:1,420人
●市町村名の由来
アイヌ語「ヘモイトマリ」
(マスの寄せる入り江)から
転化

●概況
青く広がる日本海に面し、夏には村内有数の釣りスポットのカブト千畳敷に多くの釣り人が集まる。
近年、ホタテやサーモンなどの増養殖に力を注ぎ、「つくり育てる漁業」の育成に取り組んでいる。

神恵内村 Kamoenai Village

●面積:147.79㎢
●人口:740人
●市町村名の由来
アイヌ語「カムイナイ」
(美しき神秘な沢)から転化

●概況
積丹半島の西岸中央部に位置する漁業のまち。急峻な海岸地形や奇岩怪石など雄大な海岸美や水平線に沈む夕陽は、村が誇れる観光資源となっている。

積丹町 Shakotan Town

●面積:238.13㎢
●人口:1,702人
●市町村名の由来
アイヌ語「シャック・コタン」
(夏の村、夏場所)から転化

●概況
道内唯一の海域公園に指定され、青く透き通る海の色は「積丹ブルー」として知られる。ソーラン節の故郷でもあり、義経伝説にまつわる奇岩、岬の景観は絶景。

古平町 Furubira Town

●面積:188.36㎢
●人口:2,589人
●市町村名の由来
アイヌ語「フィー・ピラ」
(赤い崖)から転化

●概況
道内屈指の魚族の宝庫であり、漁業が基幹産業。漁業と結びついた水産加工業も盛ん。新たな観光名所として道の駅ふるびら　たらこミュージアムが令和7年4月にOPEN。

仁木町 Niki Town

●面積:167.96㎢
●人口:3,051人
●市町村名の由来
本町開拓の功労者、仁木竹吉
の姓

●概況
「果実とやすらぎの里」でまちづくりを進めている。温暖な気候に恵まれ、様々な果物が楽しめる道内屈指のフルーツランド。近年ワイン事業も盛んでワイナリーが増えている。

余市町 Yoichi Town

●面積:140.62㎢
●人口:16,954人
●市町村名の由来
アイヌ語「イヨテイーン」
(ヘビのように曲がりくねった
大きな川のある所)から転化

●概況
農業・漁業と共に発展してきたまちで、特に果樹の生産が盛ん。北海道初の「ワイン特区」として認定された「ワインのまち」。また、宇宙飛行士毛利衛さんのふるさとでもある。

赤井川村 Akaigawa Village

●面積:280.09㎢
●人口:1,492人
●市町村名の由来
アイヌ語「フレペツ」
(赤い川)から転化

●概況
四方を山々に囲まれたカルデラ盆地特有の気候を活かした農業が盛ん。また、パウダースノーを活かしたスキーリゾートが有名。

注）喜茂別町及び京極町の面積は、境界の一部が未定のため参考値であり、合計面積は420.91㎢。令和7年10月1日時点全国都道府県市町村別面積調（国土地理院）。
人口は、住民基本台帳人口（令和7年１月１日現在）（北海道総合政策部）。